

1. 教育研究上の目的

人文社会学群

現代社会を理解し、21世紀を生きる市民的教養を有し、人間、文化、社会、政治及び経済に関わる基礎的・専門的な学識を有する人材を養成する。

●人間発達文化学類

本学類は、人間の発達と文化の探究・創造に関する専門的知識と技能の獲得を通じて、学校をはじめとして現代社会が直面する人間の発達支援に関わる諸課題に積極的に取り組む人材を養成することを目的とする。

(人間発達専攻)

教育の現実や歴史に対する知見や確かな心理学的知見の習得、乳幼児期から生涯にわたる人間の発達、特別な教育的ニーズに関する専門的知識と技能の獲得を通じて、人間の発達支援に関わる諸課題に積極的に取り組む人材を養成する。

(文化探究専攻)

言語、地域や生活及び数理科学分野の相互関連を理解し、専門的知識と技能を獲得することを通じて、社会でその成果を活用し、人間の発達支援に関わる諸課題に積極的に取り組む人材を養成する。

(スポーツ・芸術創造専攻)

スポーツや芸術の分野に関する高度な知識と技能の獲得を通じて、これらの分野で活躍する専門家を養成するとともに、人間の発達支援に関わる諸課題に積極的に取り組む人材を養成する

●行政政策学類

本学類は、21世紀の地域社会が直面している諸問題を、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を創り出すために必要な知識と能力をもった人材を養成することを目的とする。

(法学専攻)

法学分野を中心としつつ、関連する諸分野にわたって理解を深め、新しい地域づくりを担い得る人材を養成する。

(地域と行政専攻)

政治学と行政学分野を中心としつつ、関連する諸分野にわたって理解を深め、新しい地域づくりを担い得る人材を養成する。

(社会と文化専攻)

社会学と文化研究の分野を中心としつつ、関連する諸分野にわたって理解を深め、新しい地域づくりを担い得る人材を養成する。

●経済経営学類

本学類は、広い視野に立って学識を授け、現代の経済社会を理解し、経済と経営に関わる基礎的・専門的な知識及び能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(経済分析専攻)

広い視野に立って学識を授け、現代の経済社会を理解し、経済の理論と応用に関わる基礎的・専門的な知識及び能力を身につけた人材を養成する。

(国際地域経済専攻)

広い視野に立って学識を授け、現代の経済社会を理解し、国際的及び地域的な経済に関わる基礎的・専門的な知識及び能力を身につけた人材を養成する。

(企業経営専攻)

広い視野に立って学識を授け、現代の経済社会を理解し、経営及び会計に関わる基礎的・専門的な知識及び能力を身につけた人材を養成する。

●夜間主コース（現代教養コース）

現代教養コースは、現代社会を理解し、生活課題・地域社会が直面する問題を解決できる現代的教養を身に付けた人材を養成することを目的とする。

理工学群

人―産業―環境に関わる課題を共生のシステム科学の視点で学び、自ら課題を発見し解決できる能力と文理融合型の思考力を有し、個性に応じた実践型キャリアを身に付けた人材を養成する。

●共生システム理工学類

本学類は、人―産業―環境に関わる課題を共生のシステム科学の視点で学び、自ら課題を発見し解決できる能力と文理融合型の思考力を有し、個性に応じた実践型キャリアを身に付けた人材を養成することを目的とする。

(人間支援システム専攻)

心理学や生体システム科学、情報科学や機械・電気・電子工学など基礎・専門科目を学び、人理解を基礎とする人間支援のシステム科学に関わる人材を養成する。

(産業システム工学専攻)

化学工学、材料工学、情報工学、経営工学などの基礎・専門科目を学び、環境負荷の少ないものづくりや省資源・循環社会システムの構築に関わる人材を養成する。

(環境システムマネジメント専攻)

環境分析化学、浄化化学、生態学や地域計画、流域管理計画などの基礎・専門科目を学び、環境をシステム科学として捉え、環境保全や環境管理計画に関わる人材を養成する。